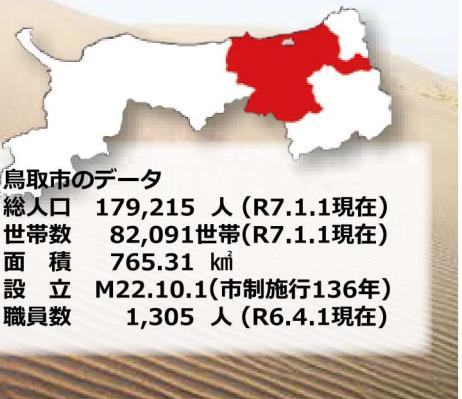


鳥取市について

日本最大級の広さを誇る鳥取砂丘を有する本市は、山陰地方東部及び兵庫県北但西部の中心都市です。古く城下町として生まれ、江戸時代は、鳥取藩池田家32万石として栄えました。平成の市町村合併により、平成16年11月には、鳥取県東部6町2村と合併し、現在の市の姿となりました。また、平成30年4月の中核市移行と併せて、近隣の自治体と「因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏」を形成し、各自治体と連携しながら、圏域全体の政治、経済、文化等の発展に取り組んでいます。



鳥取市役所（本庁舎）について

市制施行130周年となる令和元年11月に、本庁舎を現在の場所(鳥取市幸町)に新築移転し、防災、市民サービス、市民交流の機能を強化しました。多くの市民が訪れる1階、2階には、利用の多い手続きを集約した市民、福祉、税の総合窓口を配置し、必要な手続きがスムーズに行えるようになっています。

また、職員が自由に使えるミーティングスペースや専用のリフレッシュコーナーも備えており、働きやすい職場環境となっています。



鳥取市の取組（創生総合戦略）

「ひとづくり」「しごとづくり」「まちづくり」を戦略の柱とし、そこに7つの基本目標と24の重点施策を位置づけ、戦略的に施策を展開していきます。

総合戦略の柱	I	次世代の鳥取市を担う「ひとづくり」		
	基本目標	結婚・出産・子育ての希望がかなうまちづくり	重点施策	結婚・出産・子育て支援
	ふるさとを愛する心豊かな人財を育むまちづくり	重点施策	教育の充実・郷土愛の醸成、生涯学習の推進	
II 誰もが活躍できる「しごとづくり」				
III にぎわいにあふれ安心して暮らせる「まちづくり」	基本目標	稼ぐ地域・仕事と安定した雇用環境づくり	重点施策	持続可能な経済成長の実現、工業の振興、商業とサービス業等の振興、農林水産業の成長産業化
	基本目標			
	基本目標	都市部等とのつながりを築き、人が行きかうまちづくり	重点施策	ふるさと・いなか回帰の促進、滞在型観光の推進、シティセールスの推進、文化芸術によるまちづくりの推進、自治体間連携の推進
		快適で暮らしやすい魅力と活力あるまちづくり	重点施策	生活基盤の充実、中心市街地の活性化、魅力ある中山間地の振興、交通ネットワークの充実、地域情報化の推進
		健康寿命を延伸し、活力ある健康長寿のまちづくり	重点施策	スポーツ・レクリエーションの振興、健康づくり・疾病予防・介護予防の推進
		誰もが安心して暮らし続けることができるまちづくり	重点施策	協働のまちづくりの推進、地域福祉のまちづくりの推進、超高齢社会に向けたまちづくりの推進、多文化共生のまちづくりの推進、地域防災力の向上